



心のビタミン No.177



神秘的な魔方陣

学会出張でスペインのバルセロナを訪れた。ここには長年建設中のサグラダ・ファミリア（聖家族）教会がある。ユネスコの世界遺産にも登録され、多くの塔が聳える勇姿が有名だ。Sagradaとは桜と関係なく、サンタやSaintと同様に「聖」を意味している。

1882年着工で、建築家ガウディのスピリットが引き継がれてきた。最終的に塔は18本で、ガウディ没後100年の2026年に完成するらしい。インターネット上で完成予想図の動画が公開されており、その全貌には驚く。

さて、教会内部にある美しいステンドグラスやパイプオルガンなどを観

ているとき、青銅製のドアに文字と数字を発見することに。「そうだ、思い出した、これがあの魔方陣だ」。同じものが、生誕の門の左脇にもみられる。

1	14	14	4
11	7	6	9
8	10	10	5
13	2	3	15

縦横斜めなど、4つの数字を足すと合計33に。百種類以上のパターンが存在し、その配置が興味深い。昔から33という数字には、仏教や神道をはじめ世界の宗教で重要な意味が込められている。一体誰が作ったのだろうか？ 時空を超えた宇宙からのメッセージかもしれない。

いちど足し算を試みてほしい。すると、不思議な世界を体験できるだろう。いったいなぜなのか、あなたの推理をお聞きしてみたい。

（医師・音楽家 板東浩）